

比較文化演習Ⅱ

科目ナンバリング SEM-314
選択必修 2単位

上田 仁志

1. 授業の概要(ねらい)

【日本人の曖昧さとは?: 日本文化の特徴をさぐる】

参加者の研究発表を中心とする比較文学・文化のセミナーです。〈あいまい〉を切り口として、日本人の言語態度とその背景にある文化風土を、海外との比較も交えて研究します。日常会話などの身近な例から始めて、小説や映画のセリフ、俳句などのさまざまな材料にあたって、日本人が知らず知らずに行っている〈あいまい〉な言葉遣いやコミュニケーションとはどのようなものか、その特徴を(メリット、デメリットも含めて)明らかにしていきます。さらに、そうした日本人の〈あいまいさ〉は、歴史的・社会的に見て、どのように生まれ、定着したのかを探っていきます。授業の進め方は、具体的テーマに即して、個人またはグループ単位で調査を行い、研究成果を発表するというものです。秋期セメスターでは、「個人の意見をはっきり言わない」、「和を重んじる」、「空気をよむ」などの〈あいまい〉な態度が、日本社会では重んじられる傾向がある一方で、海外からは不信の目で見られやすいのはなぜか、といったテーマを、先行研究をもとに探求する予定です。

2. 授業の到達目標

1. 研究テーマに見合った文献・資料にアクセスできる。
2. 文献・資料の内容を適切に整理・要約することができる。
3. 文献・資料に基づき、自分の意見・解釈を交えて、発表することができる。
4. 他人の意見・解釈を踏まえて、自分の意見・解釈を再検討できる。
5. 研究テーマを通して学んだものを文章にまとめることができる。

3. 成績評価の方法および基準

成績評価は、平常点(小テスト・課題)30%、発表40%、中間・期末テスト30%

4. 教科書・参考文献

教科書
使用しません。

5. 準備学修の内容

1. 指定された文献・資料を読み、内容を要約する。
2. 文献・資料の内容について、コメント文を作成する。
3. 指定されたテーマについて、MELICで参考文献を調査する。
4. パワーポイントなどの発表資料を作成する。

6. その他履修上の注意事項

1. オリエンテーションを含む第1回目の授業は重要です。必ず第1回目の授業から出席してください。
2. 出席は「完全カードリーダー制」です。入室時と退室時に学生証をカードリーダーに当てて読み取らせてください。

7. 授業内容

- 【第1回】 山本七平『「空気」の研究』(1) 担当グループが内容を紹介し、テーマを提起する。
- 【第2回】 山本七平『「空気」の研究』(2) 各グループがテーマについて検討し、発表準備を行う。
- 【第3回】 山本七平『「空気」の研究』(3) グループ単位で発表し、その後、全体でディスカッションを行う。
- 【第4回】 ルース・ベネディクト『菊と刀』(1) 担当グループが内容を紹介し、テーマを提起する。
- 【第5回】 ルース・ベネディクト『菊と刀』(2) 各グループがテーマについて検討し、発表準備を行う。
- 【第6回】 ルース・ベネディクト『菊と刀』(3) グループ単位で発表し、その後、全体でディスカッションを行う。
- 【第7回】 秋期セメスター前半のまとめと復習テストを行う。
- 【第8回】 中根千枝『タテ社会の人間関係』(1) 担当グループが内容を紹介し、テーマを提起する。
- 【第9回】 中根千枝『タテ社会の人間関係』(2) 各グループがテーマについて検討し、発表準備を行う。
- 【第10回】 中根千枝『タテ社会の人間関係』(3) グループ単位で発表し、その後、全体でディスカッションを行う。
- 【第11回】 大江健三郎『あいまいな日本の私』(1) 担当グループが内容を紹介し、テーマを提起する。
- 【第12回】 大江健三郎『あいまいな日本の私』(2) 各グループがテーマについて検討し、発表準備を行う。
- 【第13回】 大江健三郎『あいまいな日本の私』(3) グループ単位で発表し、その後、全体でディスカッションを行う。
- 【第14回】 秋期セメスター後半のまとめと復習テストを行う。
- 【第15回】 セメスター全体を振り返り、〈あいまい〉というキーワードを通して、日本人と日本文化についてわかったかことを短文にまとめる。